

回覧

と き と り 桃 花 鳥

佐渡市立新穂小学校



ホームページ <http://niibo-es.sado.ed.jp>
E-mail niibo-es@sado.ed.jp

第441号
令和4年2月7日



卒業生 計良ふき子さんの作品

3日間の休校 前向きにウィズコロナを



校長 渡邊 俊行

休校が明け、子どもたちの元気な声が戻ってきました。コロナ禍に対する不安もあると思いますが、学校でも、コロナウイルス対策を徹底して参ります。

さて、ウィズコロナという言葉があります。前向きな言葉で使われています。コロナウイルス禍が続いている中、どう過ごしていくかです。「できないことはできない」「できることをしていく」という考えが大切です。今後とも、できることは何かを考え、教育活動に取り組んで参ります。ご理解とご支援を、よろしくお願いいたします。

1月25日（火）の長なわ記録会、28日（金）のなわとび大会にたくさんの方からおいでいただき、ありがとうございました。1月26日（水）給食の時間、長なわの学年の記録発表がありました。1年生と2年生が歴代新記録と紹介されると、自然と拍手が起こりました。ランチルーム全体が温かい雰囲気になりました。さすがトキッ子です。私も、とても嬉しくなりました。

1月25日（火）全校朝会で次のような話をしました。

宝くじは！買わなきゃ当たらない！



私は、令和元年11月にアキレス腱を切りました。そのときに、周りの人たちの優しさをたくさん経験しました。大変ありがたかったです。

次に、けがをした左足と健康な右足の写真を見せ、細い方を聞きました。当然、けがをして筋肉を殆ど使っていない左足が細いです。これにも驚きましたが、もっと驚いたことがありました。何だと思いませんか？実は左足の爪が、2か月間全く伸びなかったのです。ギブスをして使わなかったため、爪も伸びる必要がなかったのです。使わないと、足の筋肉もつかなし、爪も伸びないのです。

つまり、皆さんの頭、考える力も使わないと伸びないし、使えば使うだけ伸びるのです。運動する力も、やっただけつきます。心も、人のことを考えたり、人のために行動したりすることで成長します。友だちづくりも、そうです。子どもたちには、たくさん経験して、頭も体も心も、どんどん成長して行ってほしいです。

<始業式より> *上の話と関係していますので、一部紹介します。

がんばることと楽しむことの話をしました。1月4日（火）の新潟日報の所ジョージさんの記事を紹介しました。「幸福」に生きるヒントとして、「なんでも手を出すこと。やらないでつまらないと言っちゃだめ」という話がありました。「富士山に登る途中で来るんじゃないかと後悔するのはいいけれど、登りもしないでつまらないと言っちゃだめだよ。」つまり、やってみないと面白いかどうかその価値も分からない、また、やることで、新しい楽しさが見つかるということをお話しました。買わなきゃ宝くじが当たらないように、やってみないと分からないこと、ありますよね。

<ご紹介> 絵本作家の計良ふき子様より、著書を1冊寄贈していただきました。上の写真「まくらのひこうせん」です。ありがとうございました。